

令和5年度 指定管理者 評価報告書

No.	01	評価区分	I 文化交流施設、スポーツ施設、環境衛生施設、福祉施設
施設名	飛騨市文化交流センター	所管課	文化振興課
指定管理者	特定非営利活動法人ひだ文化村	地域名	古川町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市古川町若宮2丁目1-63
設置目的	地域の活性化と交流の促進及び伝統文化の伝承と市民の芸術文化の向上を図る
施設の概要	大ホール、小ホール、リハーサル室、音楽練習室

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成19年4月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和5年度 ～ 令和9年度（5年間）		
利用料金制	有り		

3 職員の配置

配置人員	常勤	4
	非常勤	1

4 施設利用者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	12,285	14,842	35,827	47,211
前年度増減比 (%)		20.8%	141.4%	31.8%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
施設利用者数 33,500人	コロナが5類移行し、利用者が徐々に増加してきた。

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	事業実施時	件数	1,971 件
その他の方式	手段		件数	件
利用者等からの意見と対応	要望・意見・苦情		対応	
指定管理者に対する意見	①	健康増進法に係る意見要望	喫煙者への配慮(文化村一帯禁煙説明)	
	②			
	③			
市に対する意見	①	危険個所の改善要望(交流広場手摺)	危険個所を確認し検討する	
	②			
	③			

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
サマーフェスティバルの実施。地元の学生が参加し指導を受ける事業を開催。ホワイエの有効活用。	多くの関係者機関と協働して開催している。合宿にきた大学生等の演奏者による地元吹奏楽部への指導を行っている。

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
施設の将来的な大規模改修について提案。	R7で検討できるよう提案する。

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
さまざまなジャンルの講演会等を開催。	多種多様な市民ニーズに応じて自主事業を実施している。

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
資格取得のための講習会参加	消防法、電気事業法、建築衛生法、食品衛生法、各種労働安全衛生法・劇場法等の法令講習及び公共文化施設講習会、事務関係講習等の資質向上のための研修を受講

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	58,464	57,227	67,545	64,190	
指定管理料	52,890	52,963	52,963	53,700	
利用料金	3,447	4,029	6,881	7,546	
純売上高			31	50	
その他	2,127	235	7,670	2,894	
支出	55,752	54,308	62,026	63,377	
売上原価					
人件費	21,469	21,779	22,305	22,929	
光熱水道費	8,216	8,764	14,672	15,113	
設備保全費	13,545	13,694	14,308	14,253	
修繕費	1,518	958	784	1,086	
備品消耗品	4,626	2,377	2,020	1,668	
清掃費	1,469	1,196	1,081	1,169	
その他管理費	535	525	595	581	
運営費事務費	1,766	1,935	2,782	3,920	
その他	2,608	3,080	3,479	2,658	
指定管理業務収支	2,712	2,919	5,519	813	
自主事業収支	0	0	0	0	
全体収支	2,712	2,919	5,519	813	

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
無料貸出消耗備品を整備し貸館利用者へサービスを提供し利用者を確保。	貸館利用者が増えるよう、利便性を向上させている。

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
光熱水費を抑えるために契約の見直しや省エネ機器への交換、節電を行っている。	経費削減の努力をしている。

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価		評価に対する内容
平等利用の確保(20)	b	(15)	自動予約システムを導入したことでより平等性が担保されている。減免団体を作らず、平等に接している。
施設の効用の発揮(20)	b	(15)	施設利用を促進させるために、利用者のニーズに合わせて館内施設の充実を図っている。多種多様なイベントを偏りなく開催し、市外に出なくても鑑賞できる機会を多数提供している。
安定した管理能力(20)	b	(15)	管理に必要な資格を取得するなど専門的な知識を身につける努力を行っており、ホールの利用者には質の高いサービスを提供できている。
経費の縮減(20)	b	(15)	光熱水費を抑えるために契約を見直したり、省エネ機器に交換したり、節電を徹底的に行うなど、経費の削減に努めている。
自主事業等及び各課で定める項目等(20)	a	(20)	地元で鑑賞できる企画を多く実施している。単なるイベントだけでなく、地域との交流や、CD制作などのアウトプットにも取り組んでいる。
総合評価	B+	(80)	施設利用を促進のため、常に改善しようと取り組んでいる。